

麻しん疑い時初動フローチャート

麻しんを疑う目安

症状：発熱、麻しんに特徴的な発疹、カタル症状など（麻しん届け出基準参照）
行動歴：麻しん患者との接触歴、海外・流行地への移動歴など

院内感染対策の実施

- ・患者動線分離
- ・空気感染対策 など

麻しん疑いと判断



麻しん届け出基準
(厚生労働省ウェブサイト)

医療機関所在区の保健センターへ連絡

保健センターは患者の基本情報と以下の内容を確認します。

- ・発熱＋麻しんに特徴的な発疹＋カタル症状の有無
- ・麻しんの病原体検査実施の有無
- ・海外渡航歴、流行地域滞在歴、アジア参加歴
- ・麻しん患者との接触歴
- ・麻しんワクチン接種歴、り患歴
- ・患者の状態や所在（症状、重症度、合併症など）
- ・他疾患検査の結果（インフル、新型コロナ等）

(注)

臨床診断例に該当したら、発生届を提出（NESIDまたはFax）

患者説明

- ・麻しんの可能性
- ・保健センターから電話連絡が入ること

行政検査用の検体採取

全て冷蔵保存（4℃）

- ・血液（3～5ml EDTA：血算用スピッツ）
- ・尿（10ml 無菌容器に保存）
- ・咽頭ぬぐい（ウイルス輸送培地に封入）

ウイルス輸送培地容器がない場合は、密閉容器（スピッツ管等）に綿棒を入れ綿球が生理食塩水に浸る程度加えるようにする。

※採取いただいた検体は保健センター または感染症対策・調査センターが回収します。

(注) 2026年9月1日(火)から2026年11月7日(土)までは愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会（以下、大会）の選手等関係者又は来場者かどうかについて必ず確認し、該当する場合には、以下の内容を届出様式「19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項」に、記入してください。

- ①大会の選手等関係者又は来場者の別
- ②感染地域の詳細（大会会場、宿泊施設等）
- ③大会会場、宿泊施設の利用期間（日時）

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に向けての感染症リスク評価、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会における名古屋市感染症強化サーベイランス実施要領(名古屋市Webサイト) →



その他

- 緊急性（接触者の緊急ワクチン接種必要性、等）に応じて検査実施日程を調整する可能性があります。
- 院内感染対策や院内での接触者対応については追ってご連絡します。
- IgG/IgM測定は行政検査としては行いません。ガイドライン等を参考にご判断ください。

侵襲性髄膜炎菌感染症（IMD）診断時初動フローチャート

侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)：髄膜炎菌が無菌部位（血液や髄液など）から検出される感染症

届出基準

臨床的特徴を有し、IMDが疑われ、かつ下記の検査方法によりIMDと診断した場合
検査方法（検査材料）

- ・分離、同定による病原体の検出（髄液、血液、その他の無菌部位）
- ・PCRによる病原体遺伝子の検出（髄液、血液、その他の無菌部位）

IMD届出基準

(厚生労働省ウェブサイト)



院内感染対策の実施

飛沫感染対策など

(注) 発生届を提出（NESID または Fax）

医療機関所在区の保健センターへ連絡・相談

保健センターは患者の基本情報と以下の内容を確認します。

- ・患者の状態や所在
- ・IMD患者との接触歴
- ・海外渡航歴、アジパラなどのマスギャザリング参加歴
- ・集団生活歴
- ・髄膜炎菌ワクチン接種歴
- ・患者、またはキーパーソンに診断が伝わっているか
- ・接触者への抗菌薬予防投与や緊急ワクチン接種が可能か
- ・採取済みの検体種類や菌株の所在

患者、家族へ保健センターから電話連絡が入ることをお伝えください。

菌株提供にご協力ください。

保健センター、または
感染症対策・調査センターが回収します。

(注) 2026年9月1日(火)から2026年11月7日(土)までは愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会（以下、大会）の選手等関係者又は来場者かどうかについて必ず確認し、該当する場合には、以下の内容を届出様式「19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項」に、記入してください。

- ①大会の選手等関係者又は来場者の別
- ②感染地域の詳細（大会会場、宿泊施設等）
- ③大会会場、宿泊施設の利用期間（日時）

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に向けての感染症リスク評価、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会における名古屋市感染症強化サーベイランス実施要領(名古屋市Webサイト) →



その他

- 菌株が外注検査機関にある場合は菌株の確保をお願いすることがあります。
- 濃厚接触者・ハイリスク接触者は早期の抗菌薬予防投与が重要です。
- 接触者への抗菌薬予防投与について、保健センターから医療機関をお願いをする場合があります。
- 院内感染対策や院内での接触者対応については追ってご連絡します。



侵襲性髄膜炎菌感染症

発生時対応ガイドライン第二版(国立健康危機管理研究機構ウェブサイト)

中東呼吸器症候群（MERS）疑い時初動フローチャート

MERSを疑う目安

症状

発熱
かつ
急性呼吸器症状



行動歴

中東※¹でのヒトコブラクダとの濃厚接触※²
または
MERS患者との接触歴（医療従事者や同居人）

※1 近年のMERS発生例は多くがサウジアラビアです。

※2 鼻や口等との接触や、生のミルクや非加熱の肉などの摂取。



MERSの流行国



院内感染対策の実施

- ・ 患者動線分離
- ・ 飛沫、接触感染対策 など

医療機関所在区の保健センターへ連絡

この後、患者対応や感染対策に関する内容をはじめとして、行政と密な連絡が必要になりますのでご了承ください。

腸管出血性大腸菌感染症（EHEC）診断時初動フローチャート

届出基準（①患者確定例 ②無症状病原体保有者）

- ① 臨床的特徴を有する者を診察した結果EHECが疑われ、かつ、検査方法によりEHECと診断した場合
- ② 臨床的特徴を呈していないが、検査方法によりEHECと診断した場合（例：飲食店の検便）

検査方法（検査材料）

- ・ 分離、同定による病原体の検出、かつ分離菌における次の1、2いずれかによるベロ毒素の同定（便）
 1. 毒素産生の確認
 2. PCR法による毒素遺伝子の検出
- ・ ベロ毒素の検出※（便）
- ・ O抗原凝集抗体又は抗ベロ毒素抗体の検出※（血清）

※HUS症例に限る。



EHEC届出基準
(厚生労働省ウェブサイト)

(注) 発生届を提出（NESID または Fax）

医療機関所在区の保健センターへ連絡

保健センターは患者の基本情報と以下の内容を確認します。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ・ 患者の状態や所在 | ・ 抗菌薬使用の有無 |
| ・ 患者、またはキーパーソンに診断が伝わっているか | ・ 採取済みの検体種類や菌株の所在 |
| ・ 患者の職業 | ・ 食中毒の可能性 |
| | ・ 海外渡航歴、アジア参加歴 |

患者、家族へ保健センターから電話連絡が入ることをお伝えください。

菌株提供にご協力ください。

保健センター または
感染症対策・調査センターが回収します。

(注) 2026年9月1日(火)から2026年11月7日(土)までは愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会（以下、大会）の選手等関係者又は来場者かどうかについて必ず確認し、該当する場合には、以下の内容を届出様式「19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項」に、記入してください。

- ①大会の選手等関係者又は来場者の別
- ②感染地域の詳細（大会会場、宿泊施設等）
- ③大会会場、宿泊施設の利用期間（日時）

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に向けての感染症リスク評価、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会における名古屋市感染症強化サーベイランス実施要領(名古屋市Webサイト) →



その他

- 菌株が外注検査機関にある場合は菌株の確保をお願いすることがあります。
- O血清型不明かつ菌株回収が困難な場合、治療前に検便をお願いすることがあります。
- 患者職業が飲食関係であった場合には就業制限の対象となることがあります。

デング熱疑い時初動フローチャート

デング熱を疑う目安

症状：発熱、発疹、悪心・嘔吐、頭痛・関節痛・筋肉痛
所見：血小板減少、白血球減少、ターニケットテスト陽性など
行動歴：デング熱流行地域への渡航歴など
蚊媒介感染症の診療ガイドラインp11-p15参照



蚊媒介感染症の診療ガイドライン第5.2版

デング熱疑いと判断



医療機関所在区の保健センターへ連絡し、
「行政検査における事前確認事項」の様式を入手

「行政検査における事前確認事項」の主な内容

- 考えられる感染原因について（蚊に刺された年月日、場所など）
- 海外渡航歴、アジパラ参加歴
- 発症から現在までの臨床経過（血液検査所見、鑑別済みの疾患、患者の状態など）



「行政検査における事前確認事項」を保健センターへ提出（Faxなど）

- その後行政検査の可否について、保健センターから医療機関へ連絡します。
- 「行政検査における事前確認事項」の内容によっては行政検査の非対象となる場合があります。ご了承ください。



行政検査対象の場合

行政検査用の検体採取

血液（3～5ml EDTA（冷蔵保存） 血算用スピッツで代用可能）

- 検体は保健センター または 感染症対策・調査センターが回収します。
- 検査結果判明まで1日以上かかります。
- 外来治療とされる場合は、蚊に刺されないよう指導をお願いします。



検査陽性の場合※1



発生届を提出（NESIDまたはFax）

患者、家族説明を実施

- ・ デング熱であること
- ・ 保健センターから電話連絡が入ること

※1 検査陰性の場合は感染症法上の対応は不要です。

このフローはチクングニア熱、ジカウイルス感染症等の蚊媒介感染症を疑った際も、感染症名を読み替えてご活用いただけます。